



平成 30 年 3 月 28 日

各 位

会 社 名 ダイトウボウ株式会社
代表者名 取締役社長 山内 一裕
(コード：3202 東証・名証各第 1 部)
問 合 せ 先 取締役執行役員 三枝 章吾
経営管理本部長
(TEL 03-6262-6557)

連結通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 29 年 5 月 11 日付で公表した平成 30 年 3 月期連結通期業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、利益計画は業績予想に沿って順調に推移してきておりましたが、本日付で、来期からスタートする「中期経営方針 Get Ahead of the Future～新しい時代の先へ～」に基づき成長投資と位置付けた当社商業施設サントムーン柿田川（所在：静岡県）に係る増床・リニューアル工事（第 4 期開発）を前倒し実施することおよびその開発資金としてシンジケートローン調達することに伴い、一過性の費用が発生することとなったものであります。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 30 年 3 月期連結業績予想数値の修正

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,800	百万円 420	百万円 290	百万円 240	円 銭 8.02
今回修正予想 (B)	4,410	340	160	100	3.34
増減額 (B-A)	▲390	▲80	▲130	▲140	
増減率 (%)	▲8.1	▲19.0	▲44.8	▲58.3	
(ご参考) 前期連結実績 (平成 29 年 3 月期)	4,701	417	267	156	5.21

(2) 差異の理由

利益面につきましては、順調に計画に沿って推移しておりましたところ、来期からスタートする「中期経営方針 Get Ahead of the Future～新しい時代の先へ～」に基づき成長投資と位置付けた当社商業施設サントムーン柿田川に係る増床・リニューアル工事（以下“第 4 期開発”）の実施を本日の取締役会で決議したことに伴い、一部施設の解体費と減価償却費の増加ならびに開発資金をシンジケートローンで調達するための手数料支払いなどの一過性の費用が発生することによるものです。

(ご参考) 本日付の以下ニュースリリース 3 件をご参照ください

- ①「中期経営方針（骨子）策定のお知らせ」
- ②「サントムーン柿田川の増床・リニューアル工事（第 4 期開発）の実施のお知らせ」

③「シンジケートローン契約締結および営業外費用の計上に関するお知らせ」

(差異の理由補足)

売上高につきましては、商業施設事業が引き続き順調に推移しているものの、年明け以降もヘルスケア事業及び繊維・アパレル事業において厳しい寒さが長引き春物商品が伸び悩んだことを主因に、通期業績予想を4,410百万円（前回予想比390百万円減）とします。

営業利益につきましては、売上減少に伴う売上総利益の減少があるものの、販売管理費が予想以上に削減できる見込みであるため後述の一過性の特殊要因を除けば、前回予想を約30百万円上回る見込でした。しかしながら、サントムーン柿田川における第4期開発の前倒し実施に伴う一部施設の耐用年数の変更に伴う減価償却費の増加およびボーリング場の一部解体費用の合計110百万円が一過性の特殊要因として発生したため、通期業績予想を340百万円（前回予想比80百万円減）とします。

経常利益につきましては、さらに所有不動産の一部売却による売却益20百万円などもあり前回予想を上回る見込でしたが、第4期開発の実施に伴う営業外費用の発生とシンジケートローン契約締結に伴う手数料の合計80百万円が一過性の特殊要因として発生したため、通期業績予想を160百万円（前回予想比130百万円減）とします。

これに、税金計算の見直しによる税金の増加を考慮して、親会社株主に帰属する当期純利益に関する通期業績予想は100百万円（前回予想比140百万円減）とします。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上